兵庫医科大学整形外科
専門研修プログラム



〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
兵庫医科大学大学 整形外科
担当: 井石　琢也(研修プログラム副統括責任者)
E-mail　secret@hyo-med.ac.jp

目次

1. 整形外科専門研修の理念と使命
2. 兵庫医科大学整形外科専門研修の目標
3. 兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴
4. 研修方法
5. 専門研修の評価
6. 専門研修プログラムを支える体制
7. 専門研修プログラムの評価と改善
8. 専攻医の採用と修了
9. 県養成医研修プログラム
10. 募集人数と応募方法

1.整形外科専門研修の理念と使命

整形外科専門研修の**理念**

整形外科専門医は、国民の皆様に質の高い運動器医療を提供することが求められます。このため整形外科専門医制度は、医師として必要な臨床能力および運動器疾患全般に関して、基本的・応用的・実践能力を備えた医師を育成し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献することを理念とします。

整形外科専門研修の**使命**

整形外科専門医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備えます。さらに、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師でなければなりません。

また整形外科専門医は、生活習慣や災害、スポーツ活動によって発生する運動器疾患と障害の発生予防と診療に関する能力を備え、社会が求める最新の医療を提供し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献する使命があります。

加えて整形外科専門医は運動器疾患全般に関して、早期診断、保存的および手術的治療ならびに、リハビリテーション治療などを実行できる能力を備え、運動器疾患に関する良質かつ安全で心のこもった医療を提供する使命があります。

２．兵庫医科大学整形外科
専門研修の目標

専攻医は、整形外科研修カリキュラムに沿って研修し、整形外科専門医として、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を涵養します。

1. 専門知識

整形外科医師としてあらゆる運動器疾患に関する知識を系統的に理解し、さらに日々進歩する新しい知見を時代に先駆けて吸収します。

2. 専門技能

運動器全般に関して的確な診断能力を身につけ、適切な保存療法、リハビリテーションを実践します。基本手技から最先端技術までを網羅した手術治療を実践することで、運動器疾患に関する良質かつ安全な医療を提供します。

3. 学問的姿勢

臨床的な疑問点を見出して解明しようとする意欲を持ち、その解答を科学的に導き出すことにより論理的に正しくまとめる能力を修得することができます。

4. 医師としての倫理性、社会性

豊かな人間性と高い倫理観の元に、整形外科医として心のこもった医療を患者に提供し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献します。

３．兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴

豊富な臨床経験を積む

本大学整形外科教室における後期臨床研修プログラム

① 整形外科医に必要な基本的な知識と手技を獲得できる指導体制

② 各専門分野（上肢、下肢、脊椎、スポーツ、腫瘍等）の指導医が在籍する施設での研修

③ 日本整形外科学会専門医を最短の年数で取れるような研修体制と関連病院のローテーションプログラム

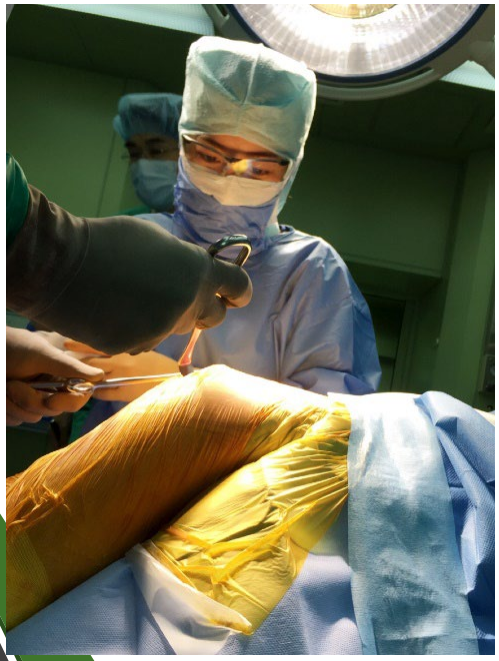




３．兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴

後期臨床研修は2年間の初期研修修了後、3年目から始まる整形外科研修のうち1年間は大学で研修をすることになります。

大学研修中に脊椎グループ、下肢関節グループ（OA,RA,スポーツ外傷）、上肢グループ、腫瘍グループ、希望があれば救急（ER）をローテーションして整形外科各疾患の基礎知識、手術適応、一般的な手技を学びます。





4年間のローテーション例

卒後3年目

レジデントカリキュラム

脊椎グループ(変性疾患、側弯症、脊椎外傷)
下肢グループ(スポーツ外傷、膝、股関節疾患、足の外科)
上肢グループ(肩関節疾患、手の外科、小児整形)
腫瘍グループ、救命救急グループ(希望選択)

各グループを3か月ずつローテーションで計12カ月
(県養成医研修プログラムは県指定関連病院にて研修開始)

卒後4年目

病院助手	関連研修病院	大学院
1年目 (希望グループ選択)	1年目	1年目

(県養成医研修プログラムは県指定関連病院 2年目)

卒後5年目

病院助手	関連研修病院	大学院
2年目 (希望グループ選択)	2年目	2年目

(県養成医研修プログラムは県指定関連病院 3年目)

卒後6年目

病院助手	関連研修病院	大学院
3年目 (希望グループ選択)	3年目	3年目

(県養成医研修プログラムは兵庫医科大学病院ローテーション)

卒後6年目1月 整形外科専門医試験 / 専門医取得

卒後7年目

大学教員 or 留年 or 関連病院 or 大学院1年目	大学院 4年目 卒業 or 留年

(県養成医研修プログラムは1年間 県立関連病院)

３．兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴

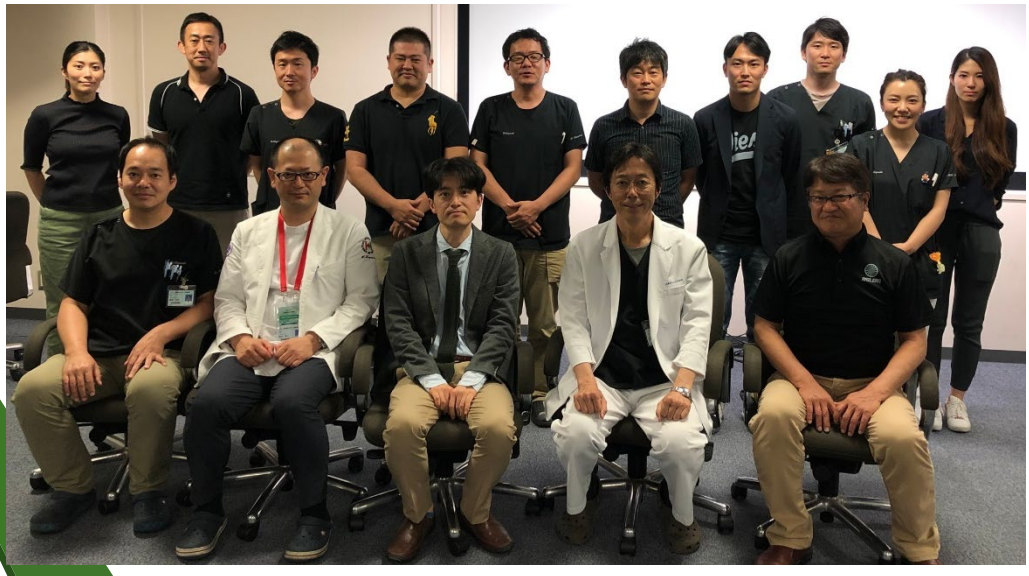
脊椎疾患の面白さを学ぶ

当教室の特色である脊椎疾患外科は、高齢化に伴い症例数は増加の一途をたどっています。脊椎外科は整形外科の中でも専門性が高く、敬遠されがちです。

大学では高度な技術を要する脊柱変形手術から低侵襲手術、顕微鏡を必要とするマイクロサージェリー手術などを幅広く行っています。

各関連施設（宝塚市立病院、川崎病院、ささやま医療センター、友愛会病院、大阪みなと中央病院、堺平成病院、 はりま病院など）には脊椎専門医を配備または医局からサポートしており、質の高い治療や脊椎手術を行っています。

また、年に3～4回脊椎カンファレンスを行い、難治症例の症例検討会も行っています。



３．兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴

スポーツ整形外科を経験する

　当教室の特色である、スポーツ整形外科の分野ではトップアスリートの手術的治療からリハビリテーション、スポーツ復帰までの過程を実際に経験することができます。
　サッカーJリーグやラグビートップリーグなどの国内トップチームの選手のケアに直接携わる貴重な経験をすることができます。







３．兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴

サブスペシャリティーを極める

各分野（脊椎、関節、腫瘍、上肢）のサブスペシャリティーを持つ指導医がいるため、外来・手術ともにそれぞれの疾患について多くの症例数があり、整形外科の基本となる疾患についてほぼ全領域を万遍なく学ぶことが可能です。

各連携病院では、一般外傷や保存的治療について主に学べます。特に指導医の元で実際に専攻医が外来診療、確定診断、治療方針の決定、手術適応、実際の執刀を行い、整形外科医としての基礎能力を身に付けることができます。

加えて各連携病院にはそれぞれに特色があり、各施設で人工関節、脊椎、小児整形、上肢などの特徴的な疾患についてさらに実践的に学ぶことができます。



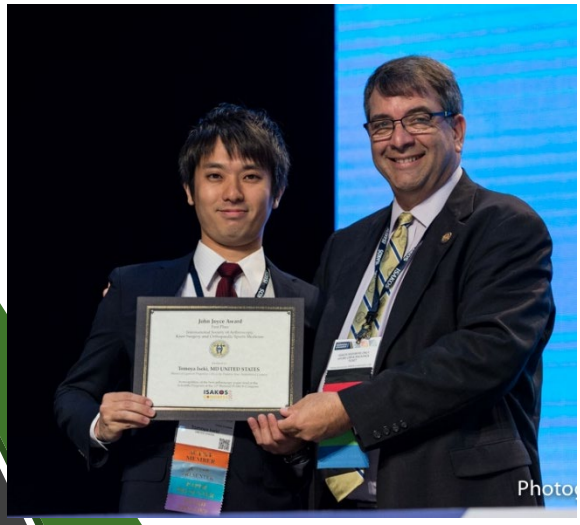


３．兵庫医科大学整形外科専門研修プログラムの特徴

学術活動で世界と交流

基幹病院である大学研修の1年間に研究活動として、国内学会での発表を最低1回（最大4回）行うことを義務づけ、少なくとも一編の論文作成を行っています。

専攻医は積極的に各分野の国内学会に参加することができ、自大学だけでなく日本国内でのゴールデンスタンダードを身につけることができます。さらにアメリカ整形外科学会(AAOS)、基礎学会（ORS）など主要国際学会にもできる限り参加するように心がけ、国際的な感覚を養うということも行っています。
大学病院研修中の希望する専攻医にはUniversity of San Francisco California (UCSF)の整形外科への2週間の短期研修プログラムを設け、積極的な参加を推奨しています。





４．研修方法

4.1基本方針

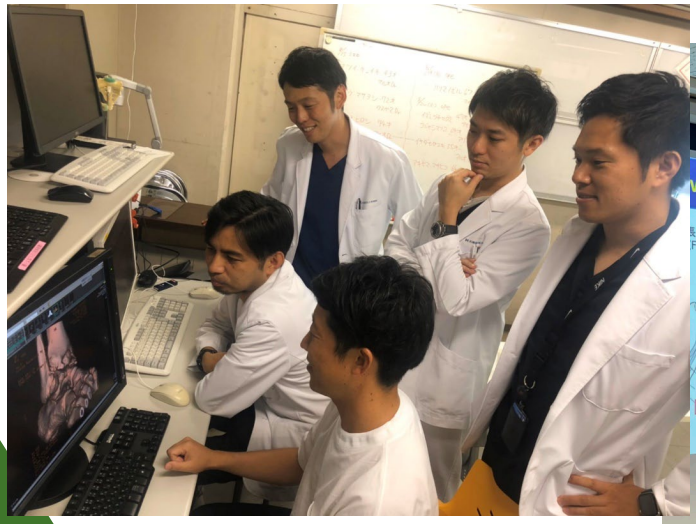
　当プログラムを修了した専攻医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備えます。
さらに、進歩する医学の新しい知識と技能を修得でき、幅広い基本的な臨床能力(知識・技能・態度)が身についた整形外科専門医となることができます。また、同時に当プログラムを専攻する専攻医は研修期間中に以下のコアコンピテンシーも習得することができます。

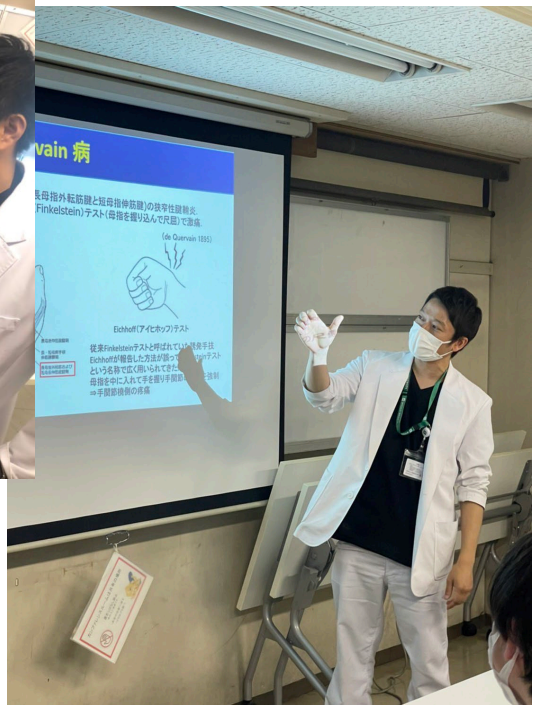
1. 患者への接し方に配慮し、患者や医療関係者とのコミュニケーション能力を磨く
2. 自立して、誠実に、自律的に医師としての責務を果たし周囲から信頼される(プロフェッショナリズム)
3. 診療記録の適確な記載ができる
4. 医の倫理、医療安全等に配慮し、患者中心の医療を実践できる
5. 臨床から学ぶことを通して基礎医学・臨床医学の知識や技術を修得する
6. チーム医療の一員として行動する
7. 後輩医師の教育・指導を行う

４．研修方法

4.2 研修計画（基幹病院）

　基本的プログラムとして卒後3年目、4年目（整形外科研修初年度もしくは次年度）のいずれかは１年間、大学病院での研修を行います。
教室内は下肢関節外科、脊椎外科、手外科、腫瘍外科の４つに大きくグループ分けされております。
更に下肢関節外科グループ内には人工関節手術や骨盤骨切り術を中心とした変性疾患を治療するグループと、鏡視下手術及び膝周囲骨切り術を主に行うスポーツ整形外科グループに分かれています。
　専攻医は1年間の間に3ヶ月ずつ各グループをローテーションして研修を行います。





４．研修方法

4.3 研修スケジュール（基幹病院）

週間スケジュールとして術前カンファレンスを週2回、術後カンファレンスを週1回行います。
それらを専攻医がプレゼンテーションすることによって、各症例についてのまとめとプレゼンテーション力を養うことができます。
また、各グループ内での小カンファレンスもそれぞれ週1回行い、詳細に疾患について学ぶことができます。他科との連携としてはリウマチ膠原病内科、麻酔科ペインクリニック科、リハビリテーション科との合同カンファレンスを数ヶ月に１回行い、お互いの症例検討を行います。

	月	火	水	木	金
朝	8:15 術前 カンファレンス	8:00 術前 カンファレンス Short lecture		8:00 術前 カンファレンス レジデント抄読会	8:15 教授回診
AM	上肢外科手術	脊椎外科手術		上肢外科手術 膝鏡視下手術	人工関節 手術 腫瘍手術
PM	上肢外科手術 脊椎外科手術	脊椎外科手術 人工関節手術 足部手術		脊髄腔造影検査 膝鏡視下手術 脊椎外科手術	人工関節 手術 腫瘍手術
タ	上肢G カンファレンス 関節G カンファレンス 腫瘍G カンファレンス			脊椎G カンファレンス	

４．研修方法

4.4 研修計画（連携病院）

基本的なプログラムでは卒後３年目、4年目いずれかの１年間を大学病院で研修を行ったのち、１年ごとに連携病院をローテーションすることになります。各連携病院ではどの施設においても、大学病院での１年の研修を終えた後の専攻医にとってはより実践的な研修となります。

特に大学病院で手薄になりがちな基本的な一般外傷骨折を多く経験することができ、整形外科医にとって非常に重要となる保存的治療についても学ぶことになります。

連携病院では上級医による指導のもと、年間100－200件程度の手術を執刀します。早期から外来業務、病棟管理、インフォームドコンセントなどを行うため、臨床医として豊富な経験を積み上げることができます。

また、連携病院においても、一般整形のみではなく、脊椎手術、人工関節手術、スポーツ整形、手外科手術など、特色あるサブスペシャリティを学ぶこともできます。

４．研修方法

4.5 研修計画（ステップアップ）

　専攻医は、大学病院を含む初めの2年間で整形外科の基礎的な知識を身につけ技術を習得します。3年目から6年目では将来のサブスペシャリティーとして、興味を持っている専門領域の特色ある連携病院へのローテーションが可能です。
また、整形外科研修3年目までに十分な研修を行うことができたと判断された大学院を希望する専攻医は、4年目に入学し、大学及び近隣連携施設に勤務しながら研究を開始することも可能です。



４．研修方法

4.6 研修計画（地域医療）

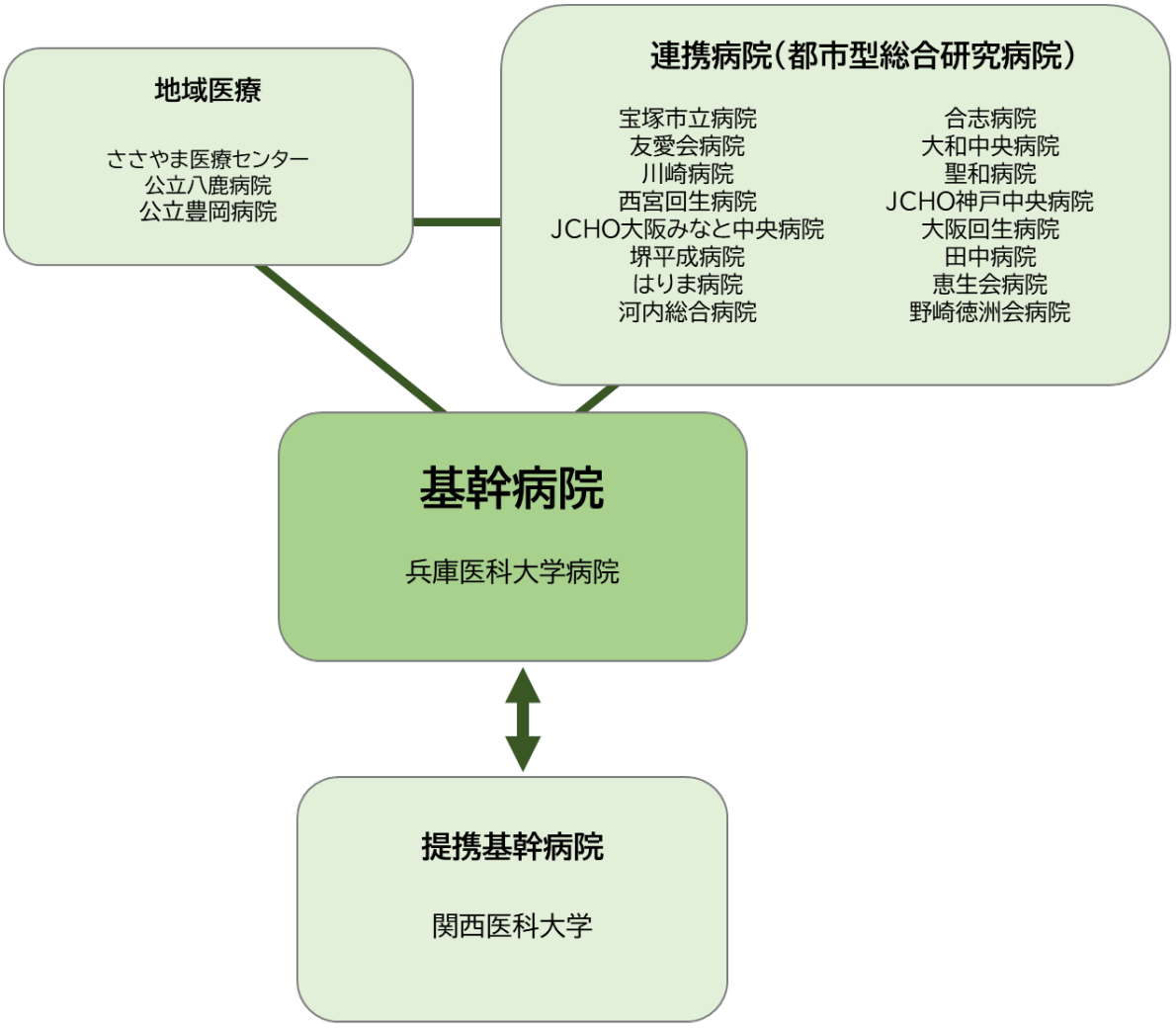
プログラムの担当指導医がチューターとして継続して関与し、研修に関してのアドバイスと指導を行い、整形外科専門医になるためのサポートを行います。

大学病院の講習会・勉強会の情報を共有し、大学のカンファレンスなどにも定期的に参加します。遠距離などの理由で大学病院での研修が困難な場合には、その地域の基幹病院で一定期間の研修ができるように手配するなど、随時適切な研修方法を提示します。4年の研修終了時に専門医試験受験資格の取得を目指しますが、困難な場合には延長期間も継続して指導を受けて研修修了を目指し、早期の整形外科専門医取得を目指します。指導医の少ない病院での研修も想定し、大学病院の指導医5名程度を、本コースの担当として継続指導できるシステムとし、研修の質を担保します。

連携病院ローテーション中にも年1回の国内学会での発表、年1回論文の作成を義務づけています。

４．研修方法

4.7 研修計画（基幹病院との連携）



4．研修方法

4.8 手術症例数

専門研修連携施設診療実績（2024年）

施設名称	総手術数（2024）	脊椎	上肢	下肢	外傷	リウマチ	スポーツ	小児	腫瘍
兵庫医科大学病院	2638	305	219	255	139	29	155	20	110
宝塚市立病院	3026	136	43	125	369	0	5	14	1
ささやま医療センター	1197	21	53	77	115	0	10	3	1
川崎病院	1059	14	119	27	243	0	0	0	17
友愛会病院	1204	0	12	36	509	1	1	9	0
聖和病院	686	0	37	45	21	0	2	0	2
合志病院	3375	0	19	122	392	2	10	5	1
はりま病院	472	55	43	34	87	0	0	0	6
西宮回生病院	6738	0	88	501	203	0	224	15	2
大和中央病院	988	83	55	127	115	2	0	0	1
田中病院	1779	0	56	27	157	0	4	2	17
大阪みなと中央病院	1189	146	138	169	7	1	26	1	1
公立八鹿病院	371	0	78	56	220	0	6	7	6
堺平成病院	630	203	39	5	156	0	0	0	0
大阪回生病院	943	37	14	92	305	0	123	0	24
神戸中央病院	1443	55	32	73	233	1	6	7	7
河内総合病院	1306	0	36	35	294	0	1	13	0
恵生会病院	705	0	6	13	69	0	0	0	4
野崎徳洲会病院	368	0	12	6	348	0	0	0	2
公立豊岡病院	1636	42	145	213	379	0	4	0	3
関西医科大学附属病院	3314	733	151	571	159	12	33	57	25
関西医科大学総合医療センター	2703	368	260	361	45	11	0	10	39
茨木みどりケ丘病院	2246	72	158	224	24	0	0	0	0

5．専門研修の評価

5.1. 形成的評価

1)フィードバックの方法とシステム

専攻医は、各研修領域終了時および研修施設移動時に日本整形外科学会が作成したカリキュラム成績表の自己評価欄に行動目標毎の自己評価を行います。
その際、指導医評価表で指導体制、研修環境に対する評価を行います。

指導医は、専攻医が行動目標の自己評価を終えた後にカリキュラム成績表の指導医評価欄に専攻医の行動目標の達成度を評価します。尚、指導医は抄読会や勉強会、カンファレンスの際に専攻医に対して教育的な建設的フィードバックを行います。

2)指導医層のフィードバック法の学習(FD)

指導医は、日本整形外科学会が行う指導医講習会等を受講してフィードバック法を学習し、より良い専門医研修プログラムの作成に努めています。

5．専門研修の評価

5.2. 総括的評価

1)評価項目・基準と時期

専門専攻研修4年目の3月に研修期間中の研修目標達成度評価報告と経験症例数報告をもとに総合的評価を行い、専門的知識・専門的技能・医師としての倫理性や社会性などを習得したかどうかを判定します。

2)評価の責任者

年次毎の評価は専門研修基幹施設や専門研修連携施設の専門研修指導医が行います。専門研修期間全体を通しての評価は、専門研修基幹施設の専門研修プログラム統括責任者が行います。

6. 専門研修プログラムを支える体制

1. 管理運営体制

基幹施設である兵庫医科大学附属病院では、指導管理責任者および指導医の協力により専攻医の評価体制を整備しています。専門研修連携施設においても同様に、専攻医の評価体制を整備しています。専門研修プログラムの管理には添付している日本整形外科学会が作成した指導医評価表や専攻医評価表などを用いた双方向の評価システムにより、互いにフィードバックすることによって研修プログラムの改善を行います。

上記目的達成のために、専門研修基幹施設に専門研修プログラムと専攻医を統括的に管理する整形外科専門研修プログラム管理委員会を置き、年に一度開催しております。

本研修プログラム群には、整形外科専門研修プログラム統括責任者を1名配置しております。
このプログラムが20名以上の専攻医を有することから副プログラム統括責任者を1名配置し、副プログラム統括責任者はプログラム統括責任者を補佐しております。

6. 専門研修プログラムを支える体制

2 .基幹施設の役割

基幹施設である兵庫医科大学附属病院は、専門研修プログラムを管理し、プログラムに参加する専攻医および連携施設を統括しています。
兵庫医科大学付属病院は研修環境を整備しており、専攻医が整形外科の幅広い研修領域を研修することができます。さらに、研修修了時に修得すべき領域の単位をすべて修得できるような専門研修施設群を形成しております。専門研修プログラム管理委員会を中心として、専攻医と連携施設を統括し、専門研修プログラム全体の管理を行っています。

3 .専門研修指導医

本研修プログラムの指導医は専門研修認定施設に勤務しており、整形外科専門医の資格を1回以上更新し、日本整形外科学会が開催する指導医講習会を5年に1回以上受講している整形外科専門医です。

6. 専門研修プログラムを支える体制

4. プログラム管理委員会の役割と権限

1) 整形外科研修プログラム管理委員会は、研修プログラムの作成や研修プログラム相互間の調整、専攻医の管理及び専攻医の採用・中断・修了の際の評価等、専門医研修の実施の統括管理を行います。

2) 整形外科研修プログラム管理委員会は研修の評価及び認定において、必要に応じて指導医から各専攻医の研修進捗状況について情報提供を受け、各専攻医の研修進捗状況を把握、評価します。
修了基準に不足している部分についての研修が行えるよう、整形外科専門研修プログラム統括責任者や指導医に指導・助言する等、有効な研修が行われるよう配慮します。

3) 専攻医が研修を継続することが困難であると認める場合には、研修プログラム管理委員会は当該専攻医がそれまでに受けた専門医研修に係る当該専攻医の評価を行います。その上で管理者に対し、当該専攻医の専門医研修を中断することを勧告することができます。

6. 専研修プログラムを支える体制

4. プログラム管理委員会の役割と権限

4) 研修プログラム管理委員会は専攻医の研修期間修了の際に専門医研修に関する当該専攻医の評価を行い、管理者に対し当該専攻医の評価を報告します。

5) 整形外科専門研修プログラム管理委員会における評価に基づいて、当プログラム責任者である統括責任者が専攻医の最終的な研修終了判定を行います。

6) 兵庫医科大学付属病院は連携施設とともに研修施設群を形成します。当院プログラム統括責任者は総括的評価、修了判定、プログラムの改善を行います。

6. 専門研修プログラムを支える体制

5. プログラム統括責任者の役割と権限

　プログラム統括責任者は、整形外科領域における十分な診療経験と教育指導能力を有し、以下の整形外科診療および整形外科研究に従事した期間・業績・研究実績を満たした整形外科医とされております。
本研修プログラム統括責任者はこの基準を満たしています。

1)整形外科専門研修指導医の基準を満たす整形外科専門医

2)医学博士号またはピアレビューを受けた英語による筆頭原著論文3編を有する者。

プログラム統括責任者の役割・権限は以下の通りとします。

1)専門研修基幹施設である兵庫医科大学における研修プログラム管理委員会の責任者であり、プログラムの作成、運営、管理を担う。

2)専門研修プログラムの管理・遂行や専攻医の採用・修了判定につき最終責任を負う。

6. 専門研修プログラムを支える体制

6-1. 労働環境、労働安全、勤務条件

労働環境、労働安全、勤務条件等は各専門研修基幹施設や専門研修連携施設の病院規定によります。

1)研修施設の責任者は専攻医のために適切な労働環境の整備に努めます。

2)研修施設の責任者は専攻医の心身の健康維持に配慮します。

3)過剰な時間外勤務を命じないようにします。

4)施設の給与体系を明示し、4年間の研修で専攻医間に大きな差が出ないよう配慮します。

6-1. 労働環境、労働安全、勤務条件

5) 整形外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件、傷病、妊娠、出産、育児、その他やむを得ない理由がある場合の休止期間は合計6ヶ月間以内とします。限度を超えたときは、原則として少なくとも不足期間分を追加履修することになります。疾病の場合は診断書を、妊娠・出産の場合はそれを証明するものの添付が必要です。
留学、診療実績のない大学院の期間は研修期間に組み入れることはできません。また研修の休止期間が6ヶ月を超えた場合には、専門医取得のための専門医試験受験が1年間遅れる場合もあります。専門研修プログラムの移動に際しては、移動前後のプログラム統括責任者及び整形外科領域の研修委員会の同意が必要です。

専攻医の勤務時間、休日、当直、給与などの勤務条件については、労働基準法を遵守し各施設の労使協定に従います。さらに、専攻医の心身の健康維持への配慮、当直業務と夜間診療業務の区別とそれぞれに対応した適切な対価を支払うこと、バックアップ体制、適切な休養などについて、勤務開始の時点で説明を行います。

総括的評価を行う際、専攻医および指導医は専攻医指導施設に対する評価も行い、その内容は兵庫医科大学附属病院整形外科専門研修管理委員会に報告されます。
その内容には労働時間、当直回数、給与など、労働条件についての内容が含まれます。

７．専門研修プログラムの評価と改善

　専門研修プログラム管理委員会で年1回検討し、必要に応じてプログラム改定を行います。
専攻医の就業環境の整備機能(労務管理)専門研修プログラム管理委員会は、専攻医に対するアンケートと面接で各施設の就業環境を調査します。
　就業環境に改善が必要であると判断した場合には、当該施設の施設長、専門研修指導責任者に文書で通達・指導します。

8. 専攻医の採用と修了

1.採用方法

応募資格
初期臨床研修修了見込みの者であること。

募集要項
https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/intern/training/later/guideline/

採用方法
基幹施設である兵庫医科大学病院整形外科に置かれた整形外科専門研修プログラム管理委員会が、整形外科専門研修プログラムをホームページや印刷物により毎年公表します。年2～3回程度の説明会などを行っていますので詳細はSNS等でご確認ください。

プログラムへの応募希望者は、随時面接を行いますので卒後臨床研修センター施設見学フォームからお問い合わせください。

卒後臨床研修センター　施設見学フォーム
https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/inquiry/tour/

面接後の方は整形外科医局にメールでお問い合わせ下さい。
seikei@hyo-med.ac.jp

ご連絡後、随時書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に通知します。

8. 専攻医の採用と修了

2.修了要件

・各修得すべき領域分野の全ての必要単位を満たしている こと。
・行動目標のすべての必修項目について目標を達成していること。
・臨床医として十分な適性が備わっていること。

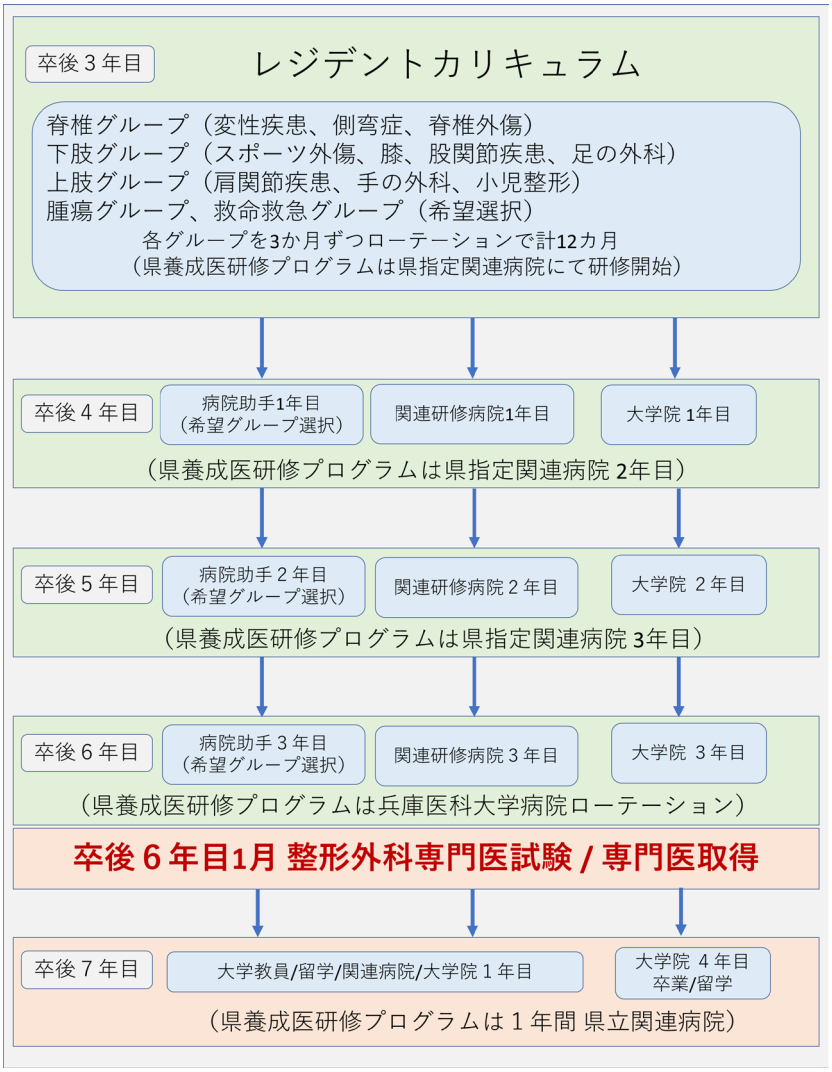
研修期間中に日本整形外科学会が主催又は認定する教育研修会を受講し、所定の手続により30単位を修得していること。
1回以上の学会発表を行い、また筆頭著者として1 編以上の論文があること。

以上の修了認定基準をもとに、専攻研修4年目の12月に、研修基幹施設の整形外科専門研修プログラム管理委員会において、各専門研修連携施設の指導管理責任者を交えて修了判定を行います。

9．県養成医研修プログラム

当プログラムに加えて、兵庫県養成医師制度を利用し医師となった県養成医の整形外科研修プログラムに関しましても、2022年4月より開始しております。

こちらに関しては県養成医として県に指定された連携病院にて整形外科医として研修してもらいます。学会発表、論文作成を経験してもらい日本整形外科学会専門医を最短の年数で取って頂けるプログラムとなっています。



10. 募集人数と応募方法

【専攻医受入数】各年次 17名

【応募方法】
応募に必要な以下の書類を郵送で下記に送って下さい。
選考は面接で行います。

【必要書類】
当プログラムの専攻医に内定された方に必要書類を
お送りいたします。

【問い合わせ先】
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
兵庫医科大学 整形外科
担当: 井石　琢也(研修プログラム副統括責任者)
E-mail:　seikei@hyo-med.ac.jp